



日刊工業新聞

Business & Technology

2014年(平成26年)

1 24

第21806号 金曜日

14
版

発行所©日刊工業新聞社2014

ベトナムに進出

京王電化、メツキ工場新設

【立川】京王電化工業（東京都調布市、姫野正樹社長、042・483・1900）は、今夏にベトナムに進出する。約5億円を投じてホーチミン市

近郊のビンズン省にメツキ工場を新設し、7月に稼働する。ベトナム南部に日系の中小メツキ会社が進出するのは初めてとされている。現地には自動

車、電機関連の大手日系メーカーが立地しているが、メツキは品質の問題からベトナム国外に発注しているケースが多い。これらの需要を取り込みベトナム事業で初年度に売上高1億円を目指す。

現地法人「ケイデンベトナム」を設立する。資本金3000万円。工場は延べ床面積1500平方メートルで、自動メツキ2ラインと手動ラインを導入する。銅、ニッケル、スズなどのメツキに対応する。現法の社長は日本から派遣する。従業員は当初20人、2017年には50人体制にする計画。

京王電化工業の市場調査によると、ベトナムには現地企業のほか、台湾やアジアのメツキ処理会社が立地している。ただ膜厚10ミクロン（マイクログラム）のメツキを安定した品質で加工できる会社は少ない。このため進出を決めた。